

## 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 当院外来における抗菌薬適正使用に関する研究

### 研究の目的

薬剤耐性対策は世界規模で取り組むべき重要な課題であり、近年、世界保健機関が定めた AWaRe 分類を用いて抗生剤の適正使用を評価する考えが世界中で広がっています。

AWaRe 分類とは抗生剤を4つに分類して適正使用を評価するものでありその内 Access に分類される抗生剤は一般的に用いられる耐性化の懸念の少ないものとして使用が推奨されている抗生剤です。

日本国内においても算定要件に AWaRe 分類での抗生剤の適正使用の評価を用いた抗菌薬適正使用体制加算が2024年の診療報酬改定で新設されました。

算定要件は外来で使用する抗生剤のうち Access の使用比率が60%以上であること、外来での抗生剤の使用状況をサーベイランスに登録している医療機関の中で Access の使用比率が上位30%以内に入ることとなっています。

当院外来における Access の使用比率は算定要件を満たしていないのが現状です。

本研究の目的はこの現状を医師、薬剤師に報告することにより当院の抗菌薬適正使用における教育プログラムの効果を明らかにすることです。

**研究実施期間：** 令和6年10月1日 ～ 令和9年3月31日

(倫理審査委員会承認日)

**対象となる方：** 令和6年10月以降、当院において外来で抗菌薬が処方された患者(入院中の患者以外で抗菌薬が使用された患者)。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、処方された抗菌薬、抗菌薬の使用量について、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先</b>	研究代表者
	所属：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤室 氏名：三浦 慶己 電話：0172-28-8220